

# 東海自然歩道「関ヶ原、鍋倉山、養老公園」

## 報告 Hama

◎日程 2017年4月21～23日

◎メンバー Hama (L)、Sachi、Mitsu、他1名

岐阜県本線コースは、ガイドブック等の推奨コースから6ヶ所を選定し2回で終わらせる予定でしたが、前回、東海自然歩道3大難所と言われているうちの最後の鍋倉山を中止したので今回歩くことにしました。順番が少し入れ代わりますが、2日目に鍋倉山を入れ、養老を3日目にして県境の川原越は6月に先送りとしました。また、鍋倉山は北側の日坂からの縦走ではなく、バスで往復できる南側の春日六合からのピストンに変更しました。

4/21 名古屋駅で東海道本線に遅延が発生していて予定より20分遅れで関ヶ原に到着。曇り空ですが雨の心配は無さそうで、駅前の観光交流館「いざ！関ヶ原」のコインロッカーに余分な荷物をデポして出発。岡山（丸山）烽火場、大きな池が3つ並んだ新緑のエコフィールド、関ヶ原合戦決戦地、石田三成陣跡の笹尾山とルート通りに巡り、ピンクの建物「胡麻の郷」（ゴマのミュージアム）に立ち寄って広場の大理石のベンチで昼食。雪が殆ど無くなった伊吹山のビューポイントを経て城山の麓の林に入るとサル群れに遭遇。このあたりのサルは、林に逃げ込んで人にちょっかいを出さないの助かりました。



(オドリコソウの群生)

ところで、関ヶ原にはオドリコソウの群生が随所にあり、他にルリソウやスマレ等もたくさん咲いていて春の花を存分に楽しみましたが、サルのいた林を抜けJR東海道本線の線路下を潜る手前でアミガサダケも見ることができました。

東海道本線を潜り進むと旧中山道に合流。東海自然歩道と大きく書かれた陸橋で国道2号を渡り不破関跡へ。本線はここから松尾山と関ヶ原駅に分岐しますが、我々は松尾山には向かわず関ヶ原駅に戻りました。

(大垣城の枝垂桜)

関ヶ原駅から大垣駅に到着するとスッキリと



した青空。大垣駅前のホテルのチェックインは 15:00 以降ということなのでザックをフロントに預け大垣城見物に出かけました。大垣城の公園にはいろんな種類の八重桜があり、ちょうど満開。珍しい緑色の御衣黄（ギョイコウ）も咲いていました。初日の夜は先月と同様に大垣駅ビル内の「日本海庄や」にしました。

4/22 先月雨で中止とした鍋倉山に向かいます。今回は朝から晴れ。大垣駅から養老鉄道・揖斐駅には予定通りに到着して 7:34 発の揖斐川コミュニティバスに乗車。乗客は我々 4 人のみでした。六合バス停（東海自然歩道のコース上）から 10 分足らず歩き、モリモリ村入口の東海自然歩道休憩所に立ち寄ってから鍋倉山へ出発。高橋谷川に沿って登って行くと水量が多くて美しい溪流へと変化していきます。中間地点の谷山集落跡を抜けると山道。崩落箇所が 2～3ヶ所ありますが歩行には支障なし。新緑と山桜が美しくザゼンソウも一株発見。徐々に傾斜が急になっていくダラダラ

とした登りが延々と続き疲労が蓄積していきます。稜線に出ると、残雪がまだ少し残っていました。山頂手前には立派な避難小屋があり、小屋の外のベンチに荷物をデポしてカラ身で山頂へ。山頂での眺望がほとんどありませんが、山頂手前で真っ白な能郷白山（帰宅してから山名を特定）を望むことができました。山頂のピストン後は避難小屋前のベンチで大休止。天気も良く爽やかだったのでゆっくりし過ぎてしまい、登ってきたルートを下り始めた時点で予定より 30 分ほどの遅れ。

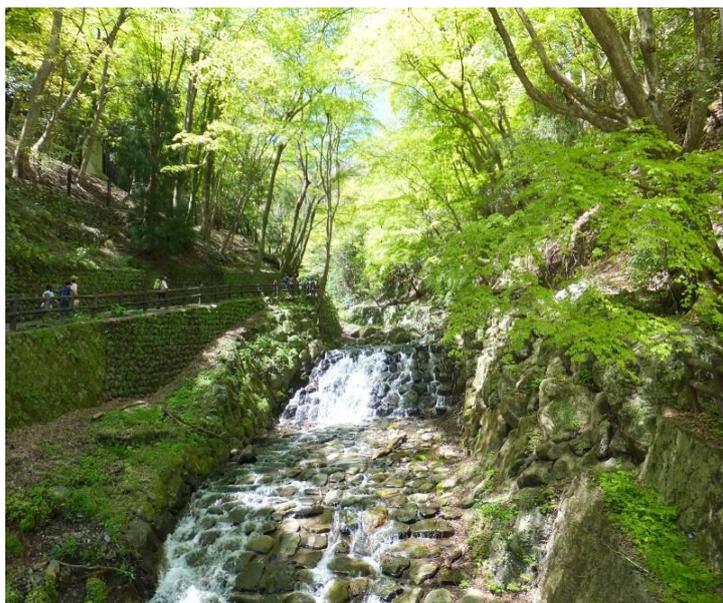


（鍋倉山の立派な避難小屋）

途中でスマホに保存していたバスの時刻表を調べると、予定していたバスの次は 1 時間 20 分後であることが判明したので下山のスピードをアップ。いちばん近いモリモリ村バス停に向かい、15 時 19 分発のバスまでに 10 分ほどの余裕をもって到着しました。バスと養老鉄道で大垣に戻り、先月と全く同じパターンで 2 日目の夜は「魚民」にて夕食としました。ところで、鍋倉山が東海自然歩道 3 大難所の一つとなっている理由はイマイチ良く分かりませんでした。標高差 800m のダラダラした登りはしんどかったですが、それほどキツイものでもありませんでした。

4/23 余分な荷物をホテルに預け養老に向かいます。大垣駅前から名阪近鉄バスで桜井バス停へ。桜井バス停から桜井の集落までの間は広々とした田園地帯となっていて強い風をまともに受けます。ここでも伊吹山が良く見えました。桜井の集落で東海自然歩道に入り、はじめのうちは順調に東海自然歩道を進んでいました。が、1 時間ほど歩いて一旦住宅地に出る竜泉寺の手前で、山に入るべきところを「いせ道」（旧伊勢街道）の方に下ってし

まいルートを外れてしまいました。戻って本コースに復帰しようとの意見もありましたが、山に入ると山ビルが多いとの情報が多かったので山ビル襲来を恐れ、リーダーの強権を發動してコースを外れたまま先へ進むことにしました。途中、神社の掃除をしていた地元のおジサンたちから「山（本コース）はヤバイぞ、ヒルにやられる。」という話もあって内心行かなくて良かったと。「いせ道」から「たき道」を辿って進み、元正天皇行幸遺跡で東海自然歩道に復帰。結果的に山ビルに襲われることもなく 1 時間半ほどショートカットしたことになりました。東海自然歩道は養老神社（菊水霊泉）から養老駅の方に下りますが、ここまで来て滝見物をしないというのはいり得ません。大勢の観光客と一緒に滝の方へ登っていきましたが、これがそこそこ距離もありキツイ登りでした。少々へばって辿り着いた養老の滝は名瀑と呼ぶに相応しい水量の多い素晴らしい滝でした。マイナスイオンをたっぷり吸い込んでゆっくり滝見物をしてから養老駅へ。養老駅のホームにはいろんな形の瓢箪が下がっていて、瓢箪を並べて駅名にしてある大きな額もありました。ちなみに駅舎の入口の駅名表示も同じものでした。



(新緑の道を養老の滝へ向かう)



(養老の滝)

岐阜県の推奨コースは、養老駅へ下る途中で右折（南に向かう）して更に約 3 時間歩いて美濃津屋駅までとなっていますが、帰り路が遠い我々は当初から養老駅までとしていたので今回はここで終了。

天気にも恵まれ気候も良く、今回の関ヶ原、鍋倉山、養老も、記憶に残る充実した楽しい山旅でした。機会があれば、お花の時期には登ったことがない伊吹山にも登ってみたいと思いました。

《記録》

- 4/21 JR 関ヶ原駅 10:15-10:30 丸山（岡山烽火場）-11:00 決戦地-11:20 笹尾山（石田三成陣跡）-12:15 胡麻の郷 12:40-13:40 不破関跡-14:10 JR 関ヶ原駅 14:25=14:37JR 大垣駅-大垣城散策（大垣にて宿泊）
- 4/22 大垣駅（養老鉄道）7:06=7:30 揖斐駅 7:34（揖斐川町コミュニティバス）=7:58 六合バス停-9:25 谷山-12:00 鍋倉山山頂（避難小屋にて大休止）12:30-14:05 谷山-15:10 モリモリ村（揖斐川町コミュニティバス）15:19=15:46 揖斐駅（養老鉄道）15:55=16:20 大垣駅（大垣にて宿泊）
- 4/23 大垣駅（名阪近鉄バス）7:45=8:20 桜井バス停-10:40 養老神社-10:55 養老の滝-11:45 養老駅（養老鉄道）12:11=12:34 大垣駅（ホテルで荷物を回収し名古屋駅へ）13:50 名古屋駅にて解散（帰宅）